

「雪の高尾山(1)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

昨夜の関東南部は、雨や雪が降ったが、今朝はよく晴れていた。今日は校外学習の下見で、高尾山に出かけた。高尾山に行くのは2年ぶりだ。中央線にも久しぶりに乗った。東京から高尾まで、踏切がほとんどないのに驚いた。



三鷹あたりから、車窓に富士山が見えていた。立川で乗客の半分以上が降りて車内が空いたので、多摩川橋梁から富士山を撮った。そういえば、富士山を見るのも久しぶりである。



東京から高尾までは、特別快速でちょうど1時間だ。高尾駅は、関東山地に顔を突っ込んだような位置にある。この駅に降り立つと、急に山の気が迫ってくる。線路には雪が残り、ホームには凍った水たまりがあった。高尾山名物「天狗」がお出迎え。



京王線を一駅乗って、高尾山口駅へ。ここは高尾山の玄関口で、休日のほうが賑わう観光駅だ。



駅の方かいの山は、針葉樹に積もった雪が残り、樹氷のように美しい。それにしても寒い！



ケーブルカー駅へ向かう道にも、雪が残っていた。結局この日は、一日中寒かった。(つづく)